

各関係機関長 殿

岡山県病害虫防除所長  
(公印省略)

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予報第8号を下記のとおり発表したの送付します。

平成26年度病害虫発生予報第8号

平成26年10月31日  
岡 山 県

予報概評

作物名	病害虫名	発生量
アブラナ科野菜	ハクサイ白斑病 べと病 コナガ ハスモンヨトウ アブラムシ類	並 やや多 やや少 少 並

(アブラナ科野菜)

(1) ハクサイ白斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 10月20日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月23~24日の巡回調査によると、発生圃場率は53.8%で平年(51.9%)並であった。

ウ. 10月30日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合は、発病を助長する条件となる。

(2) べと病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 10月20日の県予察圃場(ハクサイ)の調査では、平年同様発生を認めなかった。

イ. 10月23~24日の巡回調査によると、発生圃場率はハクサイでは53.8%で平年(17.7%)より高く、キャベツでは0%で平年(11.8%)より低かった。

ウ．10月30日発表の季節予報によると、向こう1か月の気温は平年並または高く、降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合は、発病を助長する条件となる。

(3) コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア．県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は0頭で平年（3.0頭）よりやや少なかった。

イ．10月23～24日の巡回調査によると、ダイコンでの発生圃場率は71.4%と平年（63.7%）並であったが、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、発生圃場率は平年（ハクサイ8.4%、キャベツ14.0%）より低かった。

ウ．10月30日発表の季節予報によると、向こう1か月の降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合は、発生を抑制する条件となる。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア．県予察圃場（赤磐市）のフェロモントラップにおける10月1～5半旬の誘殺数は671頭で平年（1,226.2頭）より少なかった。

イ．10月23～24日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、発生量は平年より少なかった。

ウ．10月30日発表の季節予報によると、向こう1か月の降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合は、発生を抑制する条件となる。

(5) アブラムシ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア．県予察圃場（赤磐市）の黄色水盤における10月1～5半旬の飛来数は190頭で平年（180.7頭）並であった。

イ．10月23～24日の巡回調査によると、ダイコン、ハクサイ及びキャベツでは発生を認めず、発生圃場率は平年（ダイコン4.5%、ハクサイ4.6%、キャベツ1.0%）よりやや低かった。

ウ．10月30日発表の季節予報によると、向こう1か月の降水量は平年並または多いとされており、降水量が多い場合は、発生を抑制する条件となる。

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。

アドレスは、

[http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec\\_sec1=239](http://www.pref.okayama.jp/soshiki/kakuka.html?sec_sec1=239) です。